

令和 8 年

第 6 回教育委員会会議録

(開会 令和 8 年 5 月 29 日)

(閉会 令和 8 年 5 月 29 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 8 年 5 月 29 日 午後 2 時 00 分開会

会場：市役所 4 階第 3 会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

瀬川登美子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

説明のために出席した者

宮原伴典君（事務局長）

上北泰久君（学校教育課長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

池田麻実君（学校教育課学校支援係長）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

倉知真弓君（教育総務課長）

後藤道広君（学校給食センター所長）

杉本和昭君（教育研究所主任指導主事）

平野靖之君（学校教育課指導主事）

出席委員会事務局職員

山田雄太君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第15号 請負契約の締結に関する意見について（原案可決）

②議案第16号 請負契約の締結に関する意見について（原案可決）

③議案第17号 請負契約の締結に関する意見について（原案可決）

④議案第18号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、これから令和 8 年第 6 回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしくお願いします。

前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（倉知真弓君） 前回、前々回の会議録については変更ございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願いします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） 教育長報告でございます。

大きく 3 点お願いします。

1 点ですが、カラー刷りの 2 枚クリップで留めてあるものを御覧ください。

1 点目ですが、熱中症対策についてです。

以前、昨年度末の総合教育会議の場で私が申し上げたことをちょっと思い出していただきたいのですが、可児市の熱中症対策は総合的な取組として考えていると。総合的というのは、自助・共助・公助の理念の下、みんなで取り組んでいこうといった考え方で、その考え方に基づいた取組を今いろいろ準備している、着々と準備をしておりますよということとともに、今の総合的な取組だよということを市民みんなにきちっと知らせていきたいということを市長に報告させていただきましたその件です。

まず横長のチラシですが、これは既に学校にも送付させていただき、そしてすぐメールを通して保護者等に周知をさせていただいております。自助・共助・公助、総合的というのがここに示されているということです。「市民「みんなで」熱中症から子どもの命を守ろう」というキャッチフレーズで、家庭でお願いしたいこと、地域で取り組んでいくこと、そして市のバックアップを受けながら学校で取り組んでいくことということで、これだけの中身が可児市においては熱中症対策として行われるということでございますので、御承知おきください。

折しもですが、ちょうどいいタイミングで、この「地域で」と書いてあるみまもりオアシスの件です。これは以前からお話をさせていただいているのですが、そのことについて記事が載りました。今日の岐阜新聞で、特にみまもりオアシスに着目していただいて、380か所登録という見出しで取り上げてくださいました。大変ありがたいと思っております。この記事の最後のほうには、みまもりオアシスだけではなくて学校の取組にも触れていただいて、総合的な取組だということも伝わる記事になっているかと思っております。

本当に今日もですが、大変暑くなってきて、30度超えがこれから頻繁に出てくるということを考えますと、いいタイミングで記事として取り上げていただいたということと、

それからこういった記事を読むことで学校の教職員や保護者も、より意識を高めていただけるのではないかと思います。

また、みまもりオアシスにつきましては、こういったプレートを掲示していただくんですけども、それだけではなくて、日々子供たちの様子をお知らせいただけるようにメールでのやり取りもできる仕組みを整えています。今後そういった仕組みから、どんなやり取りがなされているかということで利用の実態が分かってくるのではないかと思います。また、そういうときには皆様にお伝えしたいと思っております。これが1点目です。

2点目は、5月14日、15日に全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会が行われました。今年は高知大会ということで、高知市まで行ってまいりました。その報告なんですけれども、1つは文部科学省による行政説明です。非常に多岐にわたった行政説明が毎回あるんですけれども、その行政説明に使われた資料、非常に分厚い資料ですが、今それを学校教育課に回覧をお願いして、学校教育課内でまずそれぞれの担当でざっと見てもらえるようにしております。その後は教育総務課、そして給食センターにも回覧をして、それぞれの関係のところを見ていただけるとありがたいと思っております。よろしくお願ひします。

そういった行政説明のほかに、全国の中で代表市による実践発表も行われました。例えば、千代田区の不登校対策についてということで、誰一人取り残さないというキャッチフレーズで、実践発表がこんな冊子で発表を聞いております。可児市の取組と似たところもあるし、可児市の取組にはないところもあるし、可児市のほうが進んでいるところもあるしということで、いろいろ参考にさせていただきたいと思っているところもあります。

それからもう一つ、例えば長崎県壱岐市、島ですね。壱岐の教育行政ということで、コミュニティ・スクールの現状についての報告もございました。この2つだけではなくて、全部で幾つか、10近くの市の報告がございました。この詳細は割愛しますが、全国の教育長が寄って、それぞれの市の教育課題を踏まえつつ、他の市の実践について学ぶということが今年度も行われました。これが2点目です。

今、壱岐市の教育行政、コミュニティ・スクールの現状について少しお話をしましたけれども、3点目はコミュニティ・スクールについて今私が思っていることをお伝えしたいと思います。

3点目はコミュスクについてということですが、こちらの可児市学校教育指導の方針と重点のパンフレットは持っておられますか。ちょっと見ていただけるとありがたいです。

この中で教育大綱、これはいつも話題にするところです。教育大綱の重点方針の2番目ですが、どういふことが書いてあったかというと、「家庭、学校、住民、企業、各種団体が子どもの成長への思いを分かち合い、地域みんなで協働を進めます。」という重点方針がございます。これは、コミュニティ・スクールとか、地域学校協働活動等も非常に関連の深い重点だと思っているんですけれども、この中に、今読み上げた中に「子どもの成長への思いを分かち合い」という言葉があります。分かち合いということ、何か分けるというイメージがあるんですけれども、そうではなくて、可児市の場合はそれぞ

れ家庭、特に住民とか企業、各種団体の子供の成長への「想い」というのがすごくあって、あふれ出る「想い」があるんじゃないかと思っています。

そのうちの 하나가、このみまもりオアシスです。380か所の企業、事業所が賛同してくださって、子供たちのためにということで、子供たちの成長への「想い」を本当に強く感じて、ありがたいと思っています。

ほかにも例えば後援名義を出している団体、後援可児市教育委員会というものです。何かのいろんな各種団体の催物、活動に後援名義を出しております。それについて少しお話をしたいんですが、昨年度の実績を担当に言って出してもらったんですけども、昨年度後援名義を出した団体の一覧なんですね。これだけあります、昨年度。全部で175団体です。昨年度、合計175の団体が子供たちのためにこんな活動を、こんな催物をとという提案をしてくださって、後援名義を出しているということなんですね。この数もすごいですよね。

その中で、可児市民第九合唱団の活動を少し紹介させていただきたいと思います。

可児市民第九合唱団は、昨年度も一昨年度も後援名義を出させていただいているんですが、今年度も申請がございまして、後援の承認をしております。第11回の定期演奏会について。本当にすばらしい取組をやってくださっているんですが、今年は3部構成だそうで、第2部でオーケストラと一緒に歌おうということで、市内及び近隣の中高生と交響楽団と一緒に合唱をしたいと。子供たちに、それぞれ学校に担当の方が出向いて募集をかけて、それで今年は23名の生徒たちがこの第九合唱団の方々と一緒にオーケストラをバックに歌うということなんです。

私、この演奏会の招待を受けておりまして、大変楽しみにしているんですけども、そのプログラムに挨拶を書いてくれということでしたので、短い挨拶ですけども、お礼の意味も込めて挨拶文を寄稿しました。その中で、今言った中学生・高校生と合唱団との共演についての意味づけとか、感謝の気持ちを書きました。生徒たちにとって、団員の方々との世代を超えた音楽表現はとても大きな喜びとなるだろうということ。それから、その経験は人と関わることの新たな値打ちを発見する貴重な機会になるんじゃないか。いつも同じ年代の人たちとの交流だけではなくて、本当に年代の違う方々との交流、コラボ、共演ということで、お客様にそういった一生懸命自分たちが頑張ること、いろいろな世代の方々と一緒になって頑張ること、音楽表現の喜びとともにお客様に喜んでいただく快感というものを感じ取ることで育まれるものって、「笑顔の“もと”」っていっぱいあるような気がします。1つ取って、合唱団のことで取り上げただけでそんな値打ちがある。それが175団体もあるんですよ。この可児市のポテンシャルたるや、本当にすごいと思っています。

まだまだほかにも、例えば以前も紹介をした蘇南中学校のPTAが中心になってNPO法人ができました「つきせぬ」という団体。キャリア教育に資する講師派遣の団体です。

それから、子育て支援団体で「やさしい魔法使い」って聞いたことないですかね。最近の新聞にも記事が掲載されていましたが、子ども食堂をずっとやってくださっている団体です。その団体が、今度子ども食堂の、今子供用に食事を提供していたんだけど、そうではなくて、その取組は続けるんだけど、その食堂の運営に市内の子供たちを参画

させようと。食事を一緒に作ったり、準備を手伝ったりというような取組をやってくださった。その記事には、人の役に立ったことの喜びを語っている子供たちのコメントが載っていたんですけれども、とても楽しかったよ、役に立ててよかったよという。これも未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」ですよ、そういった体験って。そんな団体もいらっしゃる。

それから、さらに加えて可児市PTA連合会、市P連の方々、これも少し紹介をしたことがあります、ずっと市P連の方々は親御さんにこんな働きかけをしてくださっている。問いかけをしてくださっている。どんな子供に育ってほしいと思っていらいいますかと。お宅の子供さん、それぞれのお子さん、どんな子供に育ってほしいと思っていらいいますかという「笑顔の“もと”」に関する問いかけをし続けてくださっている。そういう中で、こんな子供にするために、こんな取組をやりましょうよという提案をしてくださっているんですね。

今年度新たな取組で、毎年6月ぐらいにやっていたPTAフォーラムを青少年育成シンポジウムと一緒にしてコラボで、11月21日にコラボでやりましょうということで新しい動きも考えてくださっています。

まだまだいっぱいあるんですけれども、「子どもの成長への想いを分かち合い」と重点方針に書いてあるんだけど、あふれ出る「想い」がありますね。可児市のすごいポテンシャルを皆さんと共有したいと思う。そういったあふれる「想い」をコミュスクや地域学校協働活動でぜひ活用していきたいと思っています。そういった地域の、可児市の強みというか、よさを常に私たちは感じていきたいという思いでお話をさせていただきました。

以上3点よろしくお願いをします。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告に入ります。
- 教育委員（梶田知靖君） こんにちは。

私のほうからは、学校訪問についてのことを中心にお話しさせていただきたいと思いますが、まず最初に、4月27日に令和8年度可茂地区市町村教育委員会連合総会のほうへ出席させていただきました。こちらでは、冒頭の挨拶で可茂教育事務所の古田所長様から御挨拶をいただいた中で、今年度の新しい校長先生と新しい教頭先生とのお顔合わせということでお話しされた中で、校長先生と教頭先生のそれぞれ様子が全く真逆だったというお話を聞かせてもらいました。校長先生方はとてもやる気にあふれた、本当に笑顔いっぱいというお話で、教頭先生はやっぱり初年度ということで、かなり疲弊した様子だったと。そういったお話、挨拶の中でお聞きしたんですけれども、やはり校長先生と教頭先生で大分差があるなというところを感じました。

それから、5月1日に岐阜県市町村教育委員会連合会定期総会のほうに出席させていただきました。こちらでは講話がありまして、先月の教育長報告でもありましたけれども、文部科学省教育課程企画室の栗山室長から貴重なお話を聞かせていただきまして、内容については教育長のお話と重複しますので省略させていただきますが、次世代の教育に関する、学習指導要領の改訂についての話を聞かせていただきました。

それから、5月11日に今年度初日の学校訪問のほうへ行かせていただきました。昨年もそうだったんですけど、教育総務課の水野さんが5月、6月、7月と均等にスケジュールを調整してくださって、ここにスケジュール表があるんですけど、私も全ての学校を回れるわけではないですが、担当校をうまく入れてくださり、調整してくださって、この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございます。

この日に私は土田小学校と蘇南中学校と中部中学校の3校を訪問させていただいたんですが、その中で、担当校でもある土田小学校と蘇南中学校についてお話をさせていただければと思います。

まず、土田小学校で校長先生の「笑顔の“もと”」についてお話を聞きました。千葉校長の「笑顔の“もと”」というのは、寛容な心を持つということをおっしゃってみえまして、昨年も同様に寛容な心を持つということを大切にして、学校運営についてお話ししてくださいました。

それから、先生方の働き方改革について教頭からもお話を聞いたんですが、8のつく日と水曜日は職員の方が早く帰宅できるようにしていて、今後ですけれども、プレミアムフライデーというのを設けて、その日は18時には職員を帰したいという試みもお話ししてくださいました。

それから、初任者の先生方の様子もちょっと私気になったのでお聞きしたんですが、とてもコミュニケーションが取れて、うまく学校にもなじんでいるというお話を聞かせていただきました。

あとやっぱり4月は先生方の就業時間というのが100時間を超える先生もいらっしゃることもお聞きしたんですけれども、その中でも、100時間を超える中で、新しい先生方がパソコンを設定するのに、結構今の先生にいろいろ聞きながらいろいろ設定をしていると、いつの間にか時間がたっていたというお話も聞いて、そういうパソコンの設定なんかも、例えば教育委員会として何かソフト面でそういうサポートができるシステムがあればいいなと思いました。

それから、蘇南中学校はコミュニティ・スクールについてお話しさせていただきたいと思いますが、木村校長が、昨年度まで学校運営協議会を年3回開催していたということなんですが、今年から年5回やりましょうということで、年5回開催することを決められたそうです。その中で地域学校協働本部が置かれ、その運営についても、先ほど教育長がお話しされた「つきせぬ」が中心となって運営してくださるというお話も聞かせていただきました。

それから、あといい点もあるんですが、蘇南中学校で抱える悩みもあるということで、大きく3点ほどお話しさせていただければと思うんですが、やっぱり学校規模が大きくなってきており、特別支援学級が右肩上がりで増えているということで、今年度は11学級あるというのもちょっと驚きではあるんですけれども、来年度14学級になる予定ということで、教室をどうしていったらいいのかと悩んでみえました。

あと、それからプール委託事業。こちら从今年度から民間委託ということになったんですが、蘇南中学校は送迎バスが通る道路が狭いので、そこをどう誘導していったらいいのかもちょっと悩んでみえました。

学校訪問については以上です。

また、蘇南中学校の校内教育支援センターの様子について、昨日ちょっと関わっていらっしゃる先生とちょっとLINEでのやり取りしたことについて、お話します。昨年度まで14名在籍していたんですけど、昨日までの時点で普通教室に通えているというお話でした。朝登校時にその先生が校門に立っていると、去年まで支援センターのほうにいたお子さんにお声がけをすると無視されると言っていました。というのは、その子たちにとっては、もうなかったかのような感じで元気に登校しているというお話でした。新規で1名、いらっしゃるそうなんですけど、今様子を見ているということでした。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 詳細な報告ありがとうございました。

校長が、それぞれお二人とも学校経営についての熱い思いを持っておられて、具体的にいろいろなことも進めておられるということを感じたいと思いました。

また、それぞれの学校の課題ですね。働き方改革に係るパソコンの設定のことだとか、それから教室のことだとかということで、それもこういうところで話題にしたことは事務局もきちっと受け止めて、方向を出せるところがあれば探っていきたいと思いました。ありがとうございました。

○ **教育委員（小栗照代君）** こんにちは。

私も最初に学校訪問のお話で、まず5月11日に土田小学校と蘇南中学校と中部中学校のほうと、5月13日に兼山小学校のほうにお伺いさせていただきました。

梶田委員とかぶらないところをちょっとお話ししようかなと思うんですけども、土田小学校ですけれども、今外国由来の児童が32%ということで、3分の1を占めているとのことでした。何年か前に学校訪問させていただいたときには、先生方の対応について本当に手が回らなくてという切実なお話を何回もお伺いさせていただいたんですけども、ここ数年はそういった御意見もなく、こちらからお伺いしても、うまく回っているというお話もあったので、先生方もしっかり対応してくださって、学校としてうまく運営ができるような状態になってきているんだなということを今回の訪問で改めて感じました。ほかの学校でも外国籍の方が増えているので、そういった土田小学校のノウハウとして蓄積したものを共有したり展開したりしていただくと、ほかの学校もうまくいくのかなと思いました。

続いて、蘇南中学校ですけれども、先ほどのプールのお話もありまして、その辺りはかなり強めにおっしゃっていたんですけど、やはり時間割の調整がかなり工数がかかって大変だというお話、それからグラウンドでUターンすることができないと、そこで体育の授業があると生徒たちが避けなければいけないということで、安全面だったりとか、誘導に先生方のコストがかなりかかるということで、プールを外注化することが、プラスだけではなく、人数のところであったり、敷地の問題もやっぱり考えていかなければいけないんだなということは思いました。1,000人の学校ということで、学校規模の適正化という観点においてもどうなのかなという言葉も少し先生方からも出ていらっしゃいました。

中部中学校も同じく生徒は大勢ですけれども、プールの外注化についてお伺いしましたら、それほど問題視されてはいらっしゃらなかったもので、学校によってやっぱり取組の考え方というか、かなり違うなというのは感じました。一方で、朝の送迎で、特に雨

の日に保護者の方で100台ぐらいの車が来ると。そちらのほうが大変だということで、Uターンができないのでグラウンドを通して東門から誘導しているんですけど、雨の日なので、わだちができて、乾いてもそのわだちが残って大変だというお話もありました。

それと、教育長から「石にしがみついても夢を語れ」という言葉をいただいたというのを校長先生からお伺いして、それがすごく印象に残りました。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうやって言っていましたか。

○ **教育委員（小栗照代君）** はい、おっしゃっていました。

次、兼山小学校なんですけれども、ウグイスの鳴き声が聞こえるそんな日でして、ああ、ウグイスだと思ったんですけど、そんなのどかな雰囲気での訪問をさせていただきました。

今、小規模特認校制度を使って通っているお子さんも4分の1ぐらいということで、子供たちはみんな元気に通っていただいているということです。ただ、来年度も入ってくる児童は少ない予定ですし、ますます減少していくということで、その辺りも課題かなということで、小規模特認校児童をもっと募っていかなければいけないというような現状もお伺いさせていただきました。校長先生からも本当に熱い思いとか、強い意思とかというものを感じて、学校の先生方の特徴を生かしながら学校経営を進められているというお話を伺いました。

それと14日に、私はボランティアで東明小学校にお伺いしたときに、お話を教頭先生も校長先生もお伺いしたんですけれども、新学期が始まって順調に進んでいますと。新1年生についても、幼保小の連携がしっかり取れていてスムーズに学校生活に移行できていますという御報告をいただきました。3月には、入学前の久々利保育園やトキワ幼稚園の園児たちが学校に見学にいらっしゃって、子供たちとも触れ合って、入学前からそういった触れるというような取組をしてくださったので、とても順調に進んでいると思いますとお話をしてくださいました。

それから地域の方々が、去年のことですけれども、手厚く九九とか、ミシンとか、そろばんの授業などに来てくださって、大変助かりましたということをおっしゃっていました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

詳細な報告で大変よく分かりました。

大規模校は大規模校で、小規模校は小規模校で、それぞれ教育課題があるんだなと思います。教育委員会がつかんでいる、既に事務局がつかんでいる課題もありますけれども、皆さんがそうやって訪問で生の声を聞いていただく中で、事務局が気づくこともありますので、いつもありがたいですが、そういった報告も今後よろしく願いをします。

○ **教育委員（長井知子君）** よろしく願います。

私も学校訪問に5校行ってきました。その中で印象に残った学校についてお話しさせていただきます。

まず蘇南中学校ですけれども、コミュニティ・スクールの中でやり取りというか、関係がうまくできているようで、参加者の方たちが主体者になりつつあるとおっしゃっていました。学校が関与しないでも回っていくということは、地域活性化にもなるという

ことで、とてもいい関係を築いていらっしゃるなど。お願いしたらとても快く受け入れてくださったりだとか、地域の方がしてくださっているようです。

あと広陵中学校ですけれども、すごく印象的だったのが、校長先生がとてもパワフルというか、力強くて、もう校長職を5年も続けて、自分の思いを貫き通せる力強さは本当にすごいなと思いました。その中で印象的だったのが、校長先生が、自分は先生方が校長になりたいと思ってもらえるように頑張っているとおっしゃっていました。やっぱり校長先生があれだけ元気だと、何か学校自体も先生方も明るく、すごくいい雰囲気だなと思いました。

最後に中部中学校ですけれども、小栗委員と重なる部分もありますが、佐野校長が教育長に言われたあのお言葉ですけれども、最大級の愛情だなと思ってお聞きしました。そして、私にもすごく刺さった言葉でした。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

コミュスクについて、主体者という言葉をお聞きして本当にうれしかったです。学校のお手伝いではないんだと。学校のお手伝いではなくて、地域の方々が子育ての、教育の主体者となって、自分たちが子供を育てるんだという意識でやっていく、これが本当のコミュスクだと思っているんですけれども、まさにそれが具現化されているお話を聞いてうれしかったです。

それから、校長先生になりたいと職員が思ってくれるような校長でありたいというね。本当にこれ僕自身の危機感なんですけれども、管理職の危機管理対応が増えてきています。そういう中で、学校の教職員、教諭の方々がそういった管理職をどう見ているかということなんだけど、大変そうだなって。なれるといいと思うんだけど、ちょっとやめておきたいなと思われては、今後の可児市の学校が立ち行かなくなるということですね。先生になりたい人が少なくなるなんて。そうじゃないようにしたいなと思って、そういう中で校長が元気に自分の教育観の下に頑張ってくださっているのはとてもうれしいし、それから、どんなに苦しくても石にかじりついてでも夢を語るんやと言っていたのは、かつての、私と2人でというか、教育長と課長という立場でいろんなものを乗り越えてきた中で自分が言った言葉なんですね。どんなに苦しくても夢は、俺らが夢を語らんかったらどうするんやという話をよくしていました。

なので、例えば最初に今日私の教育長報告の中でポテンシャルの話をしたでしょう。やっぱり夢を語っていくことがとても大切だなと思っています。ありがとうございます。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** こんにちは。よろしくお願いします。

まず5月1日、可児市幼保小連携推進会議だったんですけれども、所用のため、やむを得ず欠席させていただきました。大変申し訳ありませんでした。

5月13日、兼山小学校と広陵中学校の学校訪問へ行ってきました。私にとっては初めての経験で、わくわくしながら伺ったんですけど、ずっと議題にも上がっていた兼山小学校は本当に楽しみにしていて、どんなところだろう、どんな様子なんだろうという気持ちで伺ったものですから、いろいろ尋ねたいこともあって質問をたくさんしてしまったんですけれども、まず校舎の周りが本当に自然に囲まれていて、恵まれた環境なんだなと、すてきだなと素直に思いました。

例えば、大人数になじめない子供でも、ここなら違和感なく過ごせたり、居心地が悪

いと感じることなく過ごせる環境づくりがされているという印象を受けました。現在は少なくなってしまうと、3・4年生が複式という形だそうなんですけれども、ちょっと重複してしまうんですけれども、お子さんが少なくなるのがやはり心配されている様子でした。校長先生も教頭先生も、不登校ぎみのお子さんとか、分離不安とか、そういう個々の課題を本当に細やかに把握されていて、一人一人に目が行き届いているんだなと感じました。

地域の方々との活動の活発さのことも伺ったんですけれども、こんな兼山にしたい、もっとよくしたいという子供たちのそういう率先的な気持ちからの活動を考えていらっしゃるということでした。

校長先生が思われている「笑顔の“もと”」というのは、とにかくやってみよう、自分から自信とやる気生まれるんだよということをおっしゃっていました。肯定することとか、共感する力とか、すばらしさを褒めること、そういうこと全てが「笑顔の“もと”」につながるんじゃないかとおっしゃっていました。

私が個人的にちょっと気になったので、金管バンドのこともお尋ねしてしまったんですけれども、指導については非常勤の先生がいらっしゃって、お願いされているんだそうですけれども、今中学の部活動は時間が限られていてなかなかできないけれども、ここはちゃんと練習時間が確保されている。それが恵まれているとおっしゃっていました。子供たちの意見を聞くことはできなかったんですけれども、やはり小学校で金管の経験ができるというのは本当に特別なことだという気持ちをお子さんが自分たちで持つてほしいなと思います。特別だということ。多分苦手なお子さんもいらっしゃるでしょうし、いろいろ何年間を経て育ちながら、その状態もよくなりながら、いろいろ葛藤があると思うんですけど、本当にそれはすてきなことだなと思いました。まだ金管バンドは聞かせていただいているんですけど、今度演奏会があるそうで。

- 教育長（堀部好彦君） そう、定期演奏会が。
- 教育委員（瀬川登美子君） 11月にあるそうで、行けたらいいなと思っています。
- 教育長（堀部好彦君） ぜひぜひ。あと50周年、11月15日だったかな。
- 教育委員（瀬川登美子君） そうなんです。そうおっしゃっていました。できたら伺いたいと思います。
- 教育長（堀部好彦君） 私も行くつもりですので、一緒に行きましょう。時間が合えば皆さんでお邪魔できるといいかなと思います。
- 教育委員（瀬川登美子君） 楽しみにしています。

あと広陵中学校ですけど、やはり思いは皆さんと同じで、校長先生の思い描いていらっしゃるビジョンが本当に熱く語られて印象的でした。

まず、中学生という思春期で難しい時期を本当に理解されていて、コロナの影響を多く受けた学年が入ってきて、生徒たちもそういう対人関係の中で成長していく時期だからこそその理解が必要だということをすごく熟知していらっしゃる先生だと感じました。向き合ったり寄り添ったりということで、安心できる環境を整えていこうという本当に熱意が伝わってきて、学校での居場所というのをすごく大切にいらっしゃるなど。相談室とか、校内教育支援センターの利用のハードルを今年から下げたそうで、ちょっと窓口を広げて、とにかく学校へ来て過ごそうと。学校の教室には行けないけれども、

ここの教室なら行ける、そういうところを見させていただきました。

あと、地域との関わり合いなんですけど、広陵中学校はエール広陵というコミュニティーがあるんですけども、本当に随分昔から帷子地区は地域の方々が熱心で、運動だとか、見守りだとか、防犯の活動だとか、御一緒に参加させていただいたこともあるんですけども、関係性は校長先生がお話を重ねて、お互いを尊重し合う形で活動していこうと決まりましたとおっしゃっていました。本当に子供たちも帷子センターまつりだとか、花火大会だとか、ボランティアの活動もすごく率先的にみんなが手を挙げてくださるみたいで、定員オーバーになるぐらい人気があるそうなんです。活動もすごく画期的で、素晴らしいなと思いました。あと1点、教育長もおっしゃっていたばら教室、すごく楽しみにしています。

○ **教育長（堀部好彦君）** いいですね。いっぱい楽しみがあって。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** そうなんです。見させていただいて、家庭科の裁縫の授業だったんですが、生活に生きる授業だなと思いながら、先生も生徒も難しいながらも玉止めを、レッツトライという気持ちでやっていらっしゃるというのが伝わってきました。すごく温かい気持ちになりました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

瀬川委員の学校を理解したいという思いが伝わってきて、大変うれしくお聞きしました。

そういう中で、広陵中学校校長の教育観ですね。捉えている「笑顔の“もと”」は安心感とおっしゃった。安心感と聞くと、よく聞く言葉ですよ。なんだけれども、彼が捉える安心感というのは、いろいろ聞くと深いですよ。だから、いろいろな教職の経験から導き出している教育観というのは、ありふれた言葉かもしれない。一言で聞くと、よく聞く言葉かもしれないけれども、それについて語る事実だとかというのを聞くと深いなと思う。そんな教育観を、どの校長先生も持っておられるんじゃないかと思います。

あと、学校規模の適正化についてのお話、小栗委員も大規模校の話をしてくださって、小規模特認校の話は今瀬川委員が言ってくださいましたが、これはほかにも小規模校化している中学校の課題も感じています。

先ほど私は最初の話、冒頭で申し上げたんですが、全国都市教育長協議会で配付された文科省からの行政資料、分厚いものがあると言ったんですけども、その中に学校規模適正化についての資料もございますので、これは事務局でそちらも見えていきながら、今後の見通しも持たなければいけないなということも思っています。よろしく願いをします。ありがとうございました。

議事

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。

○ **事務局長（宮原伴典君）** それでは、議案書のほうを御覧ください。

表紙の2ページのほうに目次があるとおり、本日は議案が4件となっております。

議案第15号 請負契約の締結に関する意見について、議案第16号 請負契約の締結に関する意見について、議案第17号 請負契約の締結に関する意見について、議案第18号

要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上4件について御審議いただくことになります。よろしくお願いします。

- **教育長（堀部好彦君）** 本日議事の議案第15号から議案第17号 請負契約の締結に関する意見について、議案第18号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、各課所管事項です。
- **事務局長（宮原伴典君）** 私のほうからは、今、6月議会が6月に入りますと始まるんですけども、既に一般質問の受付が終了しており、通告が出されています。教育委員会の所管に関する部分については2つございました。

1つが通学路の安全対策ということで、今年4月に道路交通法の改正によって自転車青切符の対象ということで、そういった部分に対する周知等を各学校へ、教育委員会としてどのようにやっているかという趣旨の御質問。もう一つは、資源循環の食品ロス削減の推進ということで、学校給食の残食量の推移に関する御質問が来ております。

また、こちらにつきましては、週明けに市長が記者会見でこういった議案が出ていたということで、日程一覧でまた発表される予定になっておりますが、今日教育委員会のほうが先に開かれておりますので、御報告させていただきました。

あと、先ほど小栗委員、瀬川委員からも兼山小学校のお話が出ていたと思いますが、私も同行しておりまして、中島校長から小規模特認校のPRを保育園・幼稚園のほうにしたいということでしたので、保育園につきましては保育園の園長が集まる会議がちょうど終わったばかりのタイミングだったので、御案内のチラシを送らせていただきました。幼稚園の園長の会議は本日夕方にあるということでしたので、その場に中島校長も来られて、直接園長方に御説明、小規模特認校というのはこういうふうだと説明するという形で、学校長からの御要望に沿った対応をさせていただいております。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **教育総務課長（倉知真弓君）** 私からは、各委員からもありましたように、学校訪問の日程です。

現在までに小学校2校、中学校3校が終わっております。また、今月から残り11校と瀬田幼稚園に訪問することになりますので、よろしくお願いします。5月中旬だったんですけども、とても暑い中の訪問となりました。また6月、7月と暑くなると思いますので、クールビズで上着は不要ですので、暑さ対策をしていただいて御参加のほうよろしくお願いします。

あともう一つですけども、令和6年度から3か年にわたってトイレの大規模改造を

行っております。本年度は小・中学校で10校工事を行います。そのうちの7校については5月15日に契約をしております、令和9年3月まで工事を行います。残り3校につきましては、この後議案にも出てきますけれども、仮契約を行ったところになりますので、よろしくお願いします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** よろしく申し上げます。

4月24日以降の様子について御報告させていただきます。

始業式から1か月半、この間にはゴールデンウィーク期間もありました。新しい学校に学級に慣れてきて、落ち着いた様子で学習に取り組み始めていると聞いております。

5月18日から教育長訪問がスタートしました。東明小学校、それから東可児中学校、広陵中学校と3校今終えております。7月8日の桜ヶ丘小学校の訪問まで、これから行っていくしますので、お伝えさせていただきます。

訪問では、授業参観、それから学校から学校経営構想、様子、それから授業改善テーマについて説明を聞いております。教育長からの話、懇談でいろんな交流、情報共有をさせていただいております。また、諸帳簿の閲覧、施設・設備の視察もそのときに同時に行っております。学校の特色を生かして「笑顔の“もと”」を育む授業、活動を行っている旨を感じました。

5月のそれぞれの学校活動についてですが、中学校の体育大会は5月13日に東可児中学校が実施しました。21日に蘇南中学校、中部中学校、広陵中学校が予定しておりましたが、雨天のため、ちょっとこれもそれぞれの学校の特色なんですけれども、中部中学校は前日に20日に行いました。それから広陵中学校は今週の月曜日、それから蘇南中学校はその翌日の火曜日ということで、天候によって、それぞれ順次計画をちょっと延長したり、早めたりして行っております。22日、西可児中は晴天の下、行いました。小学校のほうは、土田小学校は明日、それから兼山小学校が6月4日に予定しております。修学旅行は、東可児中学校が27日から本日まで、それから来月4日から6日は中部中学校が予定しております。

先ほどの教育委員の皆さんのお話の中にもありました水泳の授業についてなんですけれども、16校全てで今民間委託を行っております。昨年度から行っている学校は結構スムーズに行っていることをお聞きしておりますが、今年度からスタートしている学校、特に先ほどもお話しありました大規模中学校では、時間割の編成、それからバスの送迎等で、本当にいろいろな調整を考えて実施していることを聞いております。今年度の成果や課題を踏まえながら、来年度また充実した水泳委託事業になるように、校長会でもそうですし、教頭会、教務主任会でも、あとメールでもいろいろ情報を共有しながら、少しずつ課題を克服しながらも来年また進めていけるように考えております。

あと2点あります。

本日から防災気象情報が変更され、警戒レベルとの一体化、名称等の変更がありました。暴風、暴風雪、土砂災害、大雨の各警報、それから木曽川に氾濫警報でレベル3以上の場合の対応ということで、大分前にちょっと情報は提供させていただきました。すぐ一とかでも保護者向けにも流しているんですけれども、本日から適用されます。

なお、休業とする対応が、今までは午前11時の時点で警報等が解除されない場合としていましたが、これからは午前6時の時点で解除されない場合は休業となります。来週6月3日くらいに台風がちょっと接近・上陸するということも聞いておりますが、もしかしたら、その対応が変更後の初めての対応になるかということも想定しております。

あと1点です。

5月当初なんですけど、結構天候が不順で、夕方雷雨の天候が続きました。下校を早めたり、引渡しを行ったりする学校がありました。これからも対応・判断に迷うときもありますけれども、学校は下校時刻にその場所で雷が鳴るかどうかなどを予想して、早めに帰す判断をした学校は、1時間、2時間早めて下校とか、今後も対応していきます。中学校区でちゃんと情報を共有して、小・中学校で連携を取っていると聞いておりますが、こういう対応をしていることを御承知いただきたいと思います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育研究所主任指導主事（杉本和昭君）** よろしくをお願いします。

私からは3点お伝えします。

教育研究所よりを御覧ください。

1点目です。2ページ目に第1回初任者研修の報告を掲載しております。最初は緊張していたものの、違う学校の初任者と交流する中で表情が和らぎ、自然体で話すことができるようになった様子を紹介させていただきました。アンケートには、初任者のそのときの思いがひしひしと伝わってくるものを掲載しました。30人の初任者がいますが、明るく元気に活躍できるように研修やサポートをしてまいります。

2点目です。3ページ目、上段のいのちの教育についてお願いします。

(2)に示しましたように、今年度よりいのちの教育推進委員会を設置しました。全小・中学校でいのちの授業を実施できるように「可児市いのちの授業の手引き」の作成に取りかかりました。現在は各学校の実施状況を把握している状況です。令和9年にかけて作成していく予定をしております。

3点目です。中段、3. 水難事故防止関係と示しましたが、全ての児童・生徒が水難事故に遭うことを防ぐために、4ページの年間計画を基に取組を進めております。5月7日にはNPO法人Safe Kids Japanの西田先生をお招きし、体育主任に対して研修を行いました。研修を受けた体育主任が各学校職員へ周知し、子供たちが自ら命を守るための心構えや知識、技能を身につけられるように指導してまいります。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **学校給食センター所長（後藤道広君）** 学校給食センターでは、毎月1回献立作成委員会のほうを開催しております。各学校の給食担当の先生方に御参加いただいて、子供たちからのいろいろな声や献立の内容に対する御意見をいただいて、翌々月の献立のほうを決めております。

この5月15日につきましては7月の献立のほうを会議に諮ったわけですが、夏ばて防止や暑さ対策としてフローズンヨーグルトやスイカ、七夕ゼリー、冷凍ミカンといったデザート多めの献立を提案させていただきました。また旬の食材、夏野菜を使ったカレーライスや、ナス、トウガン、ズッキーニを使った料理も提供する予定です。

ところが、先ほど教育長からもお話がありましたけれども、最近では5月に夏日となる日がたくさんありまして、季節は一昔前とちょっと変わってしまっています。既に暑さ対策が必要となっているような状況です。今後はそういった変化につきましてもしっかり給食センターとして把握して、献立作成や食に関する授業に取り入れていただき、反映させていければと思っておりますので、よろしくお願いします。

給食センターのほうからは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課から話がありましたが、御質問、御意見ございますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、その他質問等ございませんので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かございますか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

- **教育総務課長（倉知真弓君）** 次回会議の日程ですが、6月26日金曜日の午後2時からということでよろしくお願いします。場所は市役所5階第2委員会室となります。よろしくお願いします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、この件につきましてよろしくお願いをします。

このまま続けさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。

それでは、これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。

閉会 午後3時40分